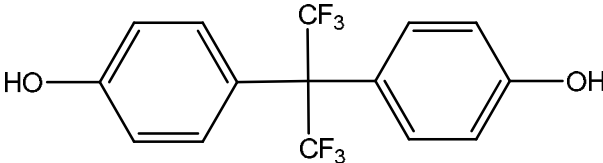


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	4-1335	CAS No.	1478-61-1
名称 構造式等	<p>名 称： 4 , 4 ' - (1 , 1 , 1 , 3 , 3 , 3 - ヘキサフルオロプロパン - 2 , 2 - ジ イル) ジフェノール</p> <p>別 名： 4 , 4 ' - [2 , 2 , 2 - トリフルオロ - 1 - (トリフルオロメチル) エチリデ ン] ビスフェノール</p> <p>4,4'-(1,1,1,3,3,3-Hexafluoropropane-2,2-diyl)diphenol</p> <p>4,4'-(Hexafluoroisopropylidene)diphenol</p> <p>分子量： 366.23</p> <p>分子式： C₁₅H₁₀F₆O₂</p> <p>構造式：</p> <div></div>		
外観	白色粉末		
溶解度	<2 wt% (水, 100 , DuPont TI)		
分解性	化審法既存点検結果公表なし		
蓄積性	化審法既存点検結果公表なし		
純度	99.69%		
用量設定 試験	投与用量	0,100,400,(1000 350) mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	1000 350(5 日 ~): 切迫と殺(2/3), 死亡(1/3), 体重 (,), 摂餌量 (, , 摂水量 (,), 一般状態の変化(爪先歩行・円背位・嗜眠・消瘦・ 脱水・下痢・立毛・流涎・呼吸音異常・口/肛門生殖器周囲の汚れ)(,), 脾臓の萎縮(), 腎臓の白色化・肥大・水腎症(), 前胃上皮の白色斑点・ 膀胱の赤色化・精囊萎縮(), 子宮の萎縮 ()	
	主な結果	400: 体重 (,), 摂餌量 (,), 摂水量 (,), 流涎(,), 胃腸管 の膨満()	
	主な結果	100: 体重 (,), 摂餌量 (,), 摂水量 (,), 流涎(,)	
	主な結果	死亡/切迫と殺例	
	主な結果	1000 350: 消化管の膨張・前胃の脆弱化・腺胃上皮の暗赤色化・脾臓の萎縮・ 脾臓の赤変・水腎症・腎臓の白色化・膀胱の肥厚・膀胱内部の白色液体貯 留(,)	
反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)			
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット, 投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒: ラッカセイ油	
	投与用量	0,30,100,300 mg/kg/day, 回復群 0,300 mg/kg/day (R300)	
	投与期間	42 日間, 42-55 日間 (哺育 4 日まで)	
反復投与 毒性 主な結果	一般状態	: 流涎(30,100,300), 口周辺の汚れ(30,100,300)	
	一般状態	: 流涎(30,100,300), 口周辺の汚れ(30,100,300), 肛門生殖器周辺の汚れ(300)	
	行動機能 観察	: 影響なし	
	行動機能 観察	: 影響なし	
	体重	: 体重増加量 (100,300)	
	体重	: 体重 (300), 体重増加量 (100)	

	摂餌量	: 摂餌量 (100,300), 摂餌効率 (100,300) : 摂餌量 (30, 100,300)
	尿	: 影響なし : 影響なし
	血液学	: RBC (300, R300), Hgb (300), RET (14 日, 300), Hct (傾向) (300), MCV (R300), MCHC (R300) : 影響なし
	生化学	: Alb (100,300), ALT (100,300), BUN (300), T-Cho (30,100,300) : Alb (100,300), A/G (100,300), ALT (300), Cl (300), T-Cho (30,100,300)
	臓器重量	: 肝臓% (300), 副腎% (300,R300), 精巣上体 g・% (300), 精巣 g (300) : 影響なし
	剖検	: 精囊小型化(300), 前立腺小型化(300), 精巣小型化(100,R300), 精巣上体小型化(100,R300) : 影響なし
	病理組織	: 小葉中心性の肝細胞肥大(30,100,300), 腎臓の好塩基性尿細管・尿細管の拡張(300), 副腎皮質の空胞形成の頻度低下(100,300,R300), 肺泡マクロファージ集簇の頻度・程度の低下(300), 精巣ライディッヒ細胞の萎縮(300), 精囊/凝固腺の分泌減少・小型化(100,300,R300), 前立腺の分泌減少・小型化(100,300), 乳腺の管状腺胞状化(30,100,300,R300), 下垂体前葉細胞の空胞化の頻度・程度の低下(300,R300) : 小葉中心性肝細胞肥大(100,300), 肺泡マクロファージ集簇の頻度・程度の低下(100,300), 乳腺組織の腺過形成(300), 卵胞嚢胞(300,R300),
	標的臓器	精巣, 精囊, 前立腺, 乳腺
生殖発生毒性 主な結果	親動物	: 授胎能 (30,100,300) : 性周期異常(300), 妊娠率 (30,100,300)
	児動物	影響なし
NOAEL		反復投与毒性: 30 未満, 30 生殖発生毒性: 30 未満
	推定根拠	反復投与毒性 30: 乳腺の管状腺胞状化 100: 体重増加量 生殖発生毒性 30: 授胎能 30: 妊娠率
NOEL		反復投与毒性: 30 未満, 30 未満 生殖発生毒性: 30 未満
	推定根拠	反復投与毒性 30: 小葉中心性の肝細胞肥大, 乳腺の管状腺胞状化 30: 摂餌量, T-Cho 生殖発生毒性 30: 授胎能 30: 妊娠率
備考		

本データは，平成22 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。